

Monthly Humor Users Magazine

HUMOR NETWORK



ISSUE 9



突発!!

ミーハー'95 インタビュー

辛口ゲーム批評で評判の

高木ブー氏に 「バーチャルポンパーマン」と 「とびだせ!ばにボン」をプレイしてもらった!!

ザ・ドリフターズの高木ブー氏のポンパーマン好きは、業界でも有名。そこで/バーチャルボーイのポンパーマンシリーズをハドソンで遊んでもらって感想を聞いてみたぞ!!



▲VBは、外から画面が見えないから、アドバイスするダルダニアンも大変なのだ!!

ダルダニアン：(以下ダ)初めまして/まさか本当にこの企画が実現するとは思ってませんでした。

高木ブー氏：(以下ブ)新しいポンパーマンをプレイできるなら、どこへでもうかがいますよ(笑)。

ダ：では、まず「バーチャルポンパーマン」から遊んでもらいましょう。

ブ：これをのぞきながらプレイするのは?ああ/なるほど、いわゆるポンパーマンと同じタイプのゲームが立体に見えるわけね。へ～え/雰囲気はすごくいいね。まんなかの橋とかうかんでみえるし、ほかにも立体物のくふうがいっぱいあるね。

ダ：それでは次は、「とびだせ!ばにボン」をいってみましょう/

ブ：これはポンパーマンのキャラをつかった落ち物のパズルだね。このタイプのゲームは、ずいぶん遊んだけど、つくせになるよね。ヨッ/ハッ//トッ/// ……………(30分経過)

ダ：…あ、あのお。

ブ：あっ/つい夢中になって(笑)。大きなバクダンとか迫力あるね。

ブ：いやあ/どちらのポンパーマンもよくできてるね/惜しいのは黒赤の2色しかないのと、画面が小さいことぐらい。でも、これはハードの問題だからしょうがないけどね。

ダ：「バーチャルポンパーマン」は、まだ開発中で、完成じゃないんですが、楽しんでもらえてうれしいです。どーもおつかれさまでした。さ、それでは、このままつづけて、なだれ式にインタビューに突入!!



▲「バーチャルポンパーマン」「とびだせ!ばにボン」をプレイして、ご満悦のブー氏。



▲8月11日現在の開発画面の「バーチャルポンパーマン」。ブー氏の観てるのはコレだ/

●なぜ名前が「高木ブー」なんです？

ダ：これは、僕が産れたときからの疑問なんです／いったいなぜですか。
 ブ：別にデブだからってわけじゃなくてね(笑)。これは、大先輩のクレイジーキャッツの、ハナ肇さんに、つけてもらったんです。「おまえら普通の名前じゃつまらんから、おれが芸名つけてやる／」ってね。

●ドリフのコントをすべて高木さんが考えるって本当？

ブ：そんなことはありませんよ(笑)、それは単なるウワサです。本当は、みんなでアイデア出しあって、イカリヤ長介がまとめてたんですよ。

▶今年ドリフ結成30周年。このパンフに使われた写真は30年前のものなんだ!!



▶ブーは、高木さんのお父さん、高木タツシさん。お父さんの名前が「ブー」なんです。



●バンドとしてのドリフターズで高木さんが担当したのは？

ブ：みんな知らないかもしれないけど、ドリフはもともとミュージシャンのグループで、僕はギター。荒井注がキーボード、イカリヤがベース、中本工事がリードギター、加藤茶がドラム。志村がまだいないころです。

●初めて遊んだテレビゲームはなんですか？

ブ：もちろんボンバーマン／ってのはウソで、やっぱりインベーダーかな？僕、むかしから早稲田に住んでて、学生街だからゲームセンターも多くて、インベーダーはよく遊んだなア。コントでも使ったしね。

ダ：「こんなゲームで遊びたい／」なんてのは、ありますか？

ブ：そーだねえ。カラーのバーチャルボーイみたいなので、全身囲われてるので遊んでみたいよね。

ダ：本日は、ありがとうございました。

高木ブー氏のサイン入りソフトを4名さまにプレゼント

「スーパーボンバーマン」「スーパーボンバーマン2」「スーパーボンバーマン3」とびだせ／ばにボン」に、それぞれ高木ブー氏のサインを入れて各1名、全4名にプレゼント。希望者は、インタビューの感想と、どのソフトがほしいかを書いてP27の住所で「ぶーちゃんのサイン」係まで。



▲僕らが生まれる前からスターだった高木ブー氏が、目の前でサインしてくれているわけだ。まるで夢のよう／



▲こちらは好評発売中の「とびだせ／ばにボン」。平行視で立体に見える／(はず)